

1. 科目名 (単位 数)	保育内容総論 (2単位)	3. 科目番号	JNNT1101
2. 授業担当教員	山口 恵美子		
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	春期・秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	<p>保育者として保育内容を考える際、保育内容の5領域や子どもの活動に対する理解は重要である。しかし、子どもの実態に応じて保育を構想するためにはこれらの理解のみでは十分条件とはならない。これらに加えて、養護と教育が一体的に展開する保育、環境を通して行う保育、遊びによる総合的な保育といった一連の保育内容の展開に関する考え方への理解が深まることで、はじめて目の前の子どもの姿から具体的に保育を構想することが可能となる。本講義の目的はここにあり、子どもの姿から保育を構想していく際に必要な考え方を身につけることを目指す。</p>		
8. 学習目標	<p>学生には下記の目標を達成することが期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所保育指針、幼稚園教育要領、認定こども園保育・教育要領に基づいた現代の保育の全体的な構造を理解し、説明できる。 2. 保育の歴史の変遷について学び、保育の基本及び保育内容について「保育の目標」、「子どもの発達」、「保育の内容」を関連付けて説明できる。 3. 子どもの生活や遊びの総合性を理解し、保育内容を領域別に指導するのではなく、相互関連性等を踏まえた総合的な指導の在り方を理解する。特に、各領域が発達を捉える視点であることを具体的に説明することができる。 4. 子どもの発達の特性や発達過程を踏まえた観察や記録の観点を習得し、子ども理解を深める姿勢を身に付ける。 5. 多様な保育展開について学び、子どもの育ちに相応しい保育を構想することができる。 6. 現代社会における様々な保育課題を知り、常に保育者としての資質と専門性の向上に努める姿勢を身に付ける。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	<p>各提出物の課題及びレポート課題を実施します。 レポート設題は、授業内で通知します。</p>		
10. 教科書・参考 書・教材	<p>【教科書】 渡邊英則、大豆生田啓友『保育内容総論 (新しい保育講座 4)』ミネルヴァ書房 2020年</p> <p>【参考資料】 保育所保育指針 (平成 29年 3月告示 厚生労働省) 幼稚園教育要領 (平成 29年 3月告示 文部科学省) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 (平成 29年 3月告示 文部科学省)</p>		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の基準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業に対する参加態度 (授業に臨む姿勢、個別学習・グループ学習における課題への取り組み) は意欲的であったか。 2. 提出物の期日は順守できたか、取り組みの内容は十分なものであったか。 3. (試験) 授業を踏まえて学習目標に示された内容が定着していたか。 (レポート) テーマに沿って分かりやすい表現・明瞭かつ論理的なレポートを作成できたか。 <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業態度 50% 2. 提出物とその内容 20% 3. 期末試験もしくは期末レポート 30% 		
12. 受講生への メッセージ	<p>子どもの発達は各領域が複雑に影響し合いながら総合的に進んでいきます。一つの保育から様々な保育効果が得られ、子どもと保育者と遊びの関係から無限に広がります。保育とはどのようなものかを総合的に理解できるよう一緒に学びましょう。</p>		
13. オフィスアワー	初回に通知		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	園生活をイメージし、幼稚園・保育所・認定こども園を知る	事前学習	学校教育の教育内容と保育所・幼稚園の保育内容の自分のイメージを整理しておく。
		事後学習	保育内容総論の意義をまとめる。
第2回	「幼稚園教育要領」等における保育内容の捉え方	事前学習	幼稚園教育要領の第2章の前文を読んでおく。
		事後学習	子どもの経験と学習の関係を復習する。
第3回	子ども理解と評価の考え方	事前学習	子ども理解の意味を考える。
		事後学習	子ども理解にもとづく評価の意味を復習する。
第4回	指導計画の作成の理解	事前学習	幼稚園教育要領・保育所保育指針に示されている教育課程・保育の全体計画の箇所を読んでおく。
		事後学習	長期の指導計画と短期の指導計画との関係性についてまとめる。

第5回	遊びや生活を通して学ぶということを考える	事前学習	「遊びのなかで学ぶ」とはを読んでおく。
		事後学習	遊びと生活との関係の理解を深める。
第6回	養護と教育が一体的に展開する保育を考える	事前学習	「養護」と「教育」という言葉を読んでおく。
		事後学習	「養護」と「教育」の観点から保育の理解を深める。
第7回	子どもの主体性を尊重する保育について	事前学習	主体的な活動としての遊びを読んでおく。
		事後学習	子どもの主体性が育まれる環境の理解を深める。
第8回	環境を通して行う保育について	事前学習	子どもをとりまく環境とは何かを調べておく。
		事後学習	「環境を通して行う保育」を復習する。
第9回	個と集団の育ちを支える保育について	事前学習	「個」を見る「集団」を見るの箇所を読んでおく。
		事後学習	「個」が育つ、関係が育つうえでの留意点を復習する。
第10回	家庭や地域との連携をふまえた保育	事前学習	子育て支援としての家庭との連携を調べておく。
		事後学習	家庭や地域と連携することの意味をまとめる。
第11回	小学校への接続をふまえた保育	事前学習	小学校への接続をふまえた保育の重要性の箇所を読んでおく。
		事後学習	連携から接続へ——学びと育ちの連続性をまとめる。
第12回	保育の多様な展開	事前学習	長時間保育の箇所を読んでおく。
		事後学習	多文化共生の保育についてまとめる。
第13回	保育内容の歴史の変遷と社会的背景	事前学習	明治以降の日本の歴史について調べてくる。
		事後学習	保育内容の歴史の変遷についてまとめる。
第14回	模擬保育と保育の評価1	事前学習	模擬保育のシミュレーションをする。
		事後学習	模擬保育で学習した事柄をふまえて保育内容での留意点をまとめる。
第15回	模擬保育と保育の評価2	事前学習	模擬保育のシミュレーションをする。
		事後学習	授業で学んだことを振り返る。